

## 事業計画書

事業名	地域ぐるみで取り組む 賢い患者になるための「患者学」
実施箇所	佐久大学及び佐久周辺市町村
実施期間	事業開始予定年月日           平成 28 年 5 月 1 日
	事業終了予定年月日           平成 29 年 2 月 28 日
事業概要	<p>&lt;事業の目的&gt;          本事業は長野県 地域発元気づくり支援金を活用し、平成27年度に本学で実施した「賢い患者になるための「患者学」」の継続事業として実施する。「患者学」とは柳田邦男氏の著書から引用した言葉であり、患者あるいは患者家族として、健康の回復・維持にむけ、生活のなかで主体的に療養に取り組む考え方を指す。前年度に行った「患者学」の取り組みは、医療者と患者の関係に注目し、患者自身が自らの言葉で医療関係者とコミュニケーションを取ることを提案した。その為には常日頃から自らが健康についての事柄を気に留めておくこと、受診の仕方を知っておくこと、最低限の医療知識を知っておくことによって、日常的に健康を意識するようになることを目指し公開講座を行った。今年度は前年度を踏まえ、下記の通り事業を行う。          この事業を通じて、健康なうちから「患者」について「学ぶ」姿勢を地域住民が自主的にもち、交流することで地域ぐるみで“健康寿命”を伸ばすことを本事業の目的とする。</p> <p>&lt;事業の内容&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 「患者学」公開講座の開講           <ul style="list-style-type: none"> <li>・時期:7月・9月・11月</li> <li>・会場:佐久大学講堂(約400人収容可能)</li> <li>・対象:佐久市及び近隣市町村の住民</li> <li>・料金: 無料(申込不要)</li> </ul> </li> <li>2. 秋桜サロン(仮)の開設           <ul style="list-style-type: none"> <li>・時期:月1~2回(年間10回程度)</li> <li>・会場:佐久大学内(約20人程度収容可能)</li> <li>・対象:佐久市及び近隣市町村の住民</li> <li>・料金:無料(申込不要)</li> <li>・講師:本学教員及び地域住民</li> <li>・サロンテーマ(案):育児ママカフェ、がん交流カフェ、認知症の家族会、笑い運動、患者交流カフェ 等(全て仮題)</li> </ul> </li> <li>3. 情報発信活動           <ol style="list-style-type: none"> <li>①「患者学」公開講座の周知               <ul style="list-style-type: none"> <li>・チラシを作成し新聞へ折り込み</li> <li>・配布地域:佐久広域</li> <li>・チラシ概要:B4版 60,000部 A4版 1,000部(公開講座の1~2週間前に配布)</li> </ul> </li> <li>②秋桜サロン(仮)周知               <ul style="list-style-type: none"> <li>・リーフレットを作成し配布</li> <li>・概要:A3版 1,000部(7月の公開講座から配布予定)</li> </ul> </li> <li>③患者学HPの開設               <ul style="list-style-type: none"> <li>・「患者学」の情報を発信するページを立ち上げ、イベント情報や資料等の提供もできるようにする(9月頃公開予定)</li> </ul> </li> </ol> </li> <li>4. 「医療を受けるときのガイドブック」の改訂・広域配布【概要:「医療を受けるときのガイドブック」(改訂版) B6版 36ページ程度 90,000部 12月配布予定】</li> </ol> <p>&lt;事業の効果・アピールポイント&gt;          ガイドブックを佐久広域に配布することにより、27年度の公開講座参加者のみならず、より広域かつ全年齢へのアプローチができる。また、秋桜サロン(仮)の開設により、1つのテーマを深めることができるとともに、地域住民の交流を活発化することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●公開講座参加人数 延べ200人</li> <li>●秋桜サロン(仮)参加者数 延べ200人</li> <li>●ガイドブック配布数 85,000部</li> </ul> <p>&lt;事業における市の役割分担&gt;          事業を進めるに当たり、27年度同様に連携し事業を進める予定である。今年度はガイドブックの広域配布にあたって、区の配布物とともに配布していただくことを依頼する予定である。          また、公開講座等事業のPRをお願いする予定である。</p>